

第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」

奈良県選手団概要

- 1 選手団総数 358名
本部役員《29名》 監督・選手《325名》
スポーツドクター《4名》
監督・選手の内訳
監督 《43名》
選手 成年《123名》[男子 82名・女子41名]
少年《159名》[男子105名・女子54名]
- 2 出場競技数 【正式競技】30競技 【公開競技】高等学校野球2種別
- 3 団長 荒井正吾（アライ ショウゴ）
財団法人奈良県体育協会会長
- 4 総監督 福井基雄（フクイ モトオ）
財団法人奈良県体育協会専務理事
- 5 旗手 矢野有吾（ヤノ ユウゴ） 県立二階堂養護学校
[弓道競技 成年男子 監督兼選手で出場]
- 6 選手団の特色
 - (1) 正式競技37競技中、サッカー、バレーボール、ハンドボール、軟式野球、ソフトボール、ラグビーフットボール、アーチェリーを除く30競技、公開競技1競技に出場。
(水泳・体操・クレ射撃競技は、9/9～9/15の会期前開催日程にて競技会を開催。)
陸上・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・バスケットボール・レスリング
セーリング・ウェイトリフティング・自転車・ソフトテニス・卓球・相撲・馬術
フェンシング・柔道・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・山岳・カヌー
空手道・銃剣道・なぎなた・ボウリング・ゴルフ
(公開競技) 高校野球 (硬式・軟式)
 - (2) 昨年は男女総合成績35位と、十分力を発揮することができなかった。今年は昨年以上の成績を目指す。
今年度、冬季大会（3競技）終了時点の順位は、男女総合35位（30点）、女子総合38位（10点）である。
 - (3) 特に期待する競技は、陸上、ホッケー、ボクシング、レスリング
ウェイトリフティング、自転車、ソフトテニス、馬術、柔道、ライフル射撃
なぎなたである。

7 結団式当日の日程

日 時 平成23年9月21日(水)
14:00～ 結団式
15:10～ ドーピング研修会
場 所 奈良県産業会館 1階 大ホール
(大和高田市幸町2番33号)
選手宣誓 松田 胤人(マツダ カズヒト) 大和広陵高等学校3年
[レスリング競技 少年男子 に出場]

8 参加競技選手の特徴 【正式競技】

陸上競技 <山口市>—全種別：維新百年記念公園陸上競技場

成年男子では国際大会でも活躍している100mに出場する木村慎太郎の活躍に期待がかかる。400mRでは県記録の更新を図るとともに、昨年に引き続き上位入賞を目指す。成年女子では、砲丸投に出場する大谷優貴乃(オホタニ ユキノ)(国士舘大学)、少年女子では、少年A やり投に出場の本山由佳(モトヤマ ユカ)に入賞の期待がかかる。

テニス競技 <岩国市>—少年男女：岩国市テニスコート

少年男子(奈良育英高校と県立郡山高校のペア)、少年女子(奈良育英高校ペア)が出場する。2種別で、日々の練習から培ったチームワークでそれぞれ入賞を目指す。

ボート競技 <下関市>—成年男女：豊田湖ボートコース

成年男子ダブルスカルと成年女子シングルスカルの出場である。男子は大学生の選抜クルーで、大学進学後にボート部に入部し活躍している。女子は近畿ブロック大会2位通過で本大会に臨みます。男女とも入賞を目指す。

ホッケー競技 <山口市>—成年女子：山口きらら博記念公園多目的ドーム

成年女子は、南都銀行・天理大学生の混成チームであるが、定期的・継続的に強化練習を実施し、13度目の優勝を狙う。

ボクシング競技 <上関町>—全種別：上関町民体育館

成年は、大学生の選抜チーム、少年は、インターハイ出場者を中心にしたチーム編成です。それぞれ上位入賞を目指す。

バスケットボール競技 <防府市>—ソルトアリーナ防府、県立防府高等学校体育館

少年女子の出場である。県内高校のオールスターチームで編成し、まずは初戦を突破し、入賞を目指す。

レスリング競技 《周南市》一周南市新南陽体育館

成年男子は、中村淳志（カムラ アツ）【(財) 奈良県体育協会】を中心に実力者揃いであり、多くの上位入賞を目指す。少年男子は、大和広陵高校5名、添上高校2名の編成で入賞の期待がかかる。

セーリング競技 《光市》一成年男女：山口県スポーツ交流村

成年男子・成年女子の出場である。昨年を上回る成績で入賞を目指す。

ウエイトリフティング競技 《下関市》一海峡メッセ下関

成年男子は、国体入賞経験を数多く持つ水口啓嗣（ミヅグチ ケイジ）【県立大淀高校】・+105kg 級吉条啓二（キチジョウ ケイジ）【アスカ美装株式会社】の2人に上位入賞が期待される。

少年男子は、千葉国体スナッチ・ジャークとも入賞の東口（榛生昇陽高）ら3名ともに国体での活躍が大いに期待される。昨年に引き続き全員入賞を目指す。

自転車競技 《美祢市・長門市》一美祢市発着特設ロードレースコース（ロード・レース）

《防府市》一防府競輪場（トラック・レース）

成年男子は、ユニバーシアード日本代表選手、吉田隼人（ヨシダ ハヤト）【鹿屋体育大学4年】、野口正則（ノグチ マサリ）【鹿屋体育大学3年】、元砂勇雪（モトスナ ユウ）【鹿屋体育大学2年】、山本元喜（ヤマモト ゲンキ）【鹿屋体育大学2年】を中心に活躍が期待される。少年男子は、インターハイで活躍した奈良北高と榛生昇陽高との混成メンバーで編成される。今年は総合優勝が十分に期待できる。

ソフトテニス競技 成年男子・少年男女

《宇部市》一宇部マテ“フレッセラ”テニスコート

成年男子・少年男子・少年女子の3種別に出場する。成年男子は、大学生チームで優勝を狙う。少年男子は、高田商業高校・関西中央高校の混合チームである。インターハイでは不本意な結果に終わったが、厳しい強化練習をこなしている。国体では優勝を目指す。少年女子は奈良育英高校・高田商業高校・大宇陀中学校の混成チームで国体入賞を目指す。

卓球競技 《萩市》一成年女子：萩市民体育館

成年女子の出場である。大学生で構成のチームです。強化練習と念入りな準備を行い入賞を目指す。

相撲競技 ≪下関市≫－全種別：下関市豊浦夢が丘スポーツセンター

成年男子は、社会人2名と大学生1名の構成である。少年男子は、御所実業高校4名・五條高校1名の混成チームである。全員一丸となり入賞を目指す。

馬術競技 ≪下関市≫－川棚乗馬クラブ

成年は、千葉国体優勝の馬場馬術 露崎康弘（ツザキヤヒロ）【乗馬クラブクレイン】を中心に全日本クラスの選手が名を連ねている。経験豊かなライダーであり、馬も若返りチームワークを活かして、今年の雪辱は果たし総合成績上位を狙う。

フェンシング競技 ≪岩国市≫－成年男子：岩国市総合体育館

成年男子の出場である。社会人3名の構成チームである。種目エペを得意とするメンバーで昨年以上の成績を目指す。

柔道競技 ≪萩市≫－成年男子：萩市民体育館

成年男子の出場である。天理大学のメンバー構成で、若いチームなので勢いを持って昨年を上回る順位を目指す。

バドミントン競技 ≪光市≫－成年女子・少年男子：光市総合体育館

成年女子、少年男子の出場である。成年女子は大学生の構成メンバーでまずは初戦突破を目指す。少年男子は奈良高校、奈良大学附属高校の混成チーム。本大会ではベストパフォーマンスを発揮して入賞目指して頑張る。

弓道競技 ≪山口市≫－山口県弓道場（近的・遠的）

成年男子と少年男子の出場である。成年男子は昨年度と同メンバーで雪辱を誓う。少年男子は、櫃原高校、高田商業高校の混成チームである。本番では昨年続き、チーム一丸となって上位入賞を狙う。

ライフル射撃競技 ≪広島県安芸太田町≫－CP以外：つつがライフル射撃場

≪山口市≫－CP：山口県警察学校けん銃射撃場

成年男子、少年男女の出場である。成年の部においては、過去の大会での入賞経験者を中心に入賞を目指す。少年男女は、山辺高校ライフル射撃部の生徒であり、決勝進出を目指して頑張る。千葉国体入賞の阪口真唯（サグチ マイ）【10mSJW】山辺高校3年に連続入賞の期待がかかる。

剣道競技 ≪下関市≫一県立下関武道館

成年男女・少年男子の3種別出場である。成年男子は、実力者を中心に今年も強力なチーム編成ができた。遠征・強化合宿をとおしてチーム力が上がっており、本大会では入賞を目指す。成年女子は、近畿ブロック大会1位通過の勢いを本大会で発揮し入賞を目指す。少年男子は、奈良大学附属高校・一条高校の混成チームである全員がインターハイ経験者で入賞の期待がかかる。

山岳競技 ≪山口市≫一山口県セミナーパーククライミング場・体育館

成年男子・少年女子の出場である。成年男子は昨年出場の浅山真樹を中心に入賞を目指す。少年男子は高田高校のペアであり近畿ブロック大会突破の勢いを持続させ上位進出を目指す。

カヌー競技 ≪岩国市≫一中山湖特設カヌー競技場

少年男子の出場である。大分国体以来の入賞に期待がかかる。

空手道競技 ≪長門市≫一ながと総合体育館

全種別の出場である。チームの雰囲気は良好である。各階級入賞を目指し練習に励んでいる。

銃剣道競技 ≪和木町≫一町立和木中学校体育館

成年男子の出場である。チームは自衛官3名で編成されており、本大会での入賞を目指して錬磨中である。

なぎなた競技 ≪下関市≫一下関市立大学体育館

成年女子は、社会人2名、学生1名の構成で演技、試合とも入賞を目指す。少年女子は昨年の近畿ブロック大会と同メンバーで臨み、上位入賞に期待がかかる。

ボウリング競技 ≪下関市≫一全種別：下関ロイヤルボウル

成年男子・少年男女の出場である。激戦の近畿ブロックを突破し、本戦に向けて練習に励んでいる。全ての種別での上位入賞を目指す。特に成年男子は千葉国体団体(4人チーム)2位・団体(2人チーム)3位以上を目指す。

ゴルフ競技 成年男子・女子≪山口市≫一宇部72カントリークラブ万年池東・西コース

少年男子≪山陽小野田市≫一山陽国際ゴルフクラブ東コース

全種別の出場である。成年男子は平成19年秋田国体少年団体の部で3位に入賞し

たときのメンバー上田を中心に成年での入賞を目指す。少年男子においては、高校生・中学生2人の構成チームが出場。近畿ブロック大会でも見せたチームワークの良さで、本戦での活躍が期待される。女子は、一般・高校生・中学生の構成チームで入賞を目指す。

高等学校野球（硬式）競技 《宇部市》ーユニーピアールスタジアム

智辯学園高等学校が出場する。夏の甲子園大会ベスト8の実力を十分に発揮し、国体では全国優勝を目指します。

高等学校野球（軟式）競技 《柳井市》ービジコム柳井スタジアム

天理高校が出場する。今年の高校全国選手権ではベスト8の実力を発揮し国体では全国優勝を狙います。

9 参考資料

第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」本大会の概要

- ① 開催地 山口県下18市町（県外開催1市1町を含む）
《開会式》維新百年記念公園陸上競技場（山口市）
《閉会式》維新百年記念公園陸上競技場（山口市）
- ② 期 間 平成23年10月1日（土）～10月11日（火）
- ③ 愛称・スローガン

【愛 称】

おいでませ！山口国体

元気あふれる山口へ、ようこそ。
全国から集う人々を、150万県民一人ひとりが温かくお迎えします。

【スローガン】

君の一生けんめいに会いたい

力と技を競うアスリート
見守り応援する観客
大会を支えるボランティア
みんなの一生懸命がきらめく、夢と感動にあふれる大会を目指します。

【目 的】

<趣旨>

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的としています。

《参 考》

回数	大会名	参加人員（60回までは秋季大会のみ）	天皇杯
39	わかくさ国体	816人（役員25人、監督選手791人）	1位
40	わかとり国体	431人（役員16人、監督選手415人）	13位
41	かいじ国体	393人（役員20人、監督選手373人）	13位
42	海邦国体	368人（役員20人、監督選手348人）	12位
43	京都国体	381人（役員20人、監督選手361人）	23位
44	はまなす国体	335人（役員20人、監督選手315人）	30位
45	とびうめ国体	338人（役員20人、監督選手318人）	28位
46	石川国体	339人（役員20人、監督選手319人）	27位
47	べにばな国体	357人（役員20人、監督選手337人）	34位
48	東四国国体	369人（役員20人、監督選手349人）	27位
49	わかしゃち国体	388人（役員20人、監督選手368人）	26位
50	ふくしま国体	367人（役員20人、監督選手347人）	31位
51	ひろしま国体	370人（役員20人、監督選手350人）	31位
52	なみはや国体	445人（役員20人、監督選手425人）	27位
53	かながわ・ゆめ国体	392人（役員20人、監督選手372人）	33位
54	くまもと未来国体	398人（役員24人、監督選手374人）	38位
55	2000年とやま国体	340人（役員23人、監督選手312人） （スポーツドクター5人）	30位
56	新世紀・みやぎ国体	416人（役員27人、監督選手384人） （スポーツドクター5人）	33位
57	よさこい高知国体	367人（役員22人、監督選手340人） （スポーツドクター5人）	35位

58	NEW!!わかふじ国体	356人 (役員20人、監督選手332人) (スポーツドクター4人)	29位
59	彩の国まごころ国体	355人 (役員20人、監督選手330人) (スポーツドクター5人)	37位
60	晴れの国おかやま国体	368人 (役員23人、監督選手340人) (スポーツドクター5人)	32位
61	のじぎく兵庫国体	531人 (役員31人、監督選手496人) (スポーツドクター4人)	25位
62	秋田わか杉国体	444人 (役員31人、監督選手409人) (スポーツドクター4人)	28位
63	チャレンジ大分国体	363人 (役員31人、監督選手328人) (スポーツドクター4人)	33位
64	トキめき新潟国体	348人 (役員30人、監督選手314人) (スポーツドクター4人)	33位
65	ゆめ半島千葉国体	407人 (役員30人、監督選手373人) (スポーツドクター4人)	35位

第66回 県選手団総数・競技別参加人数一覧

選手団総数		小 計			総 計	
本部役員		29			358	
スポーツドクター		4				
監 督		43				
選 手	成年男子	82	123	282		
	成年女子	41				
	少年男子	105	159			
	少年女子	54				

競技別参加人数		監督		成 年		少 年		合 計
		選任	(選手兼任)	男 子	女 子	男 子	女 子	
1	陸 上	1	(1)	5	4	11	10	31
2	水 泳	競泳	1	5	2	5	10	23
		飛込	1		1			
3	テ ニ ス	2				2	2	6
4	ボ ー ト	1		2	1			4
5	ホ ッ ケ ー		(1)		14			14
6	アマチュアボクシング	3		5		5		13
7	体 操	2				4	5	11
8	バスケットボール	1					11	12
9	レスリング	2		6		7		15
10	セーリング	1		3	2			6
11	ウェイトリフティング	1	(1)	3		3		7
12	自 転 車	2		5		4		11
13	ソフトテニス	2	(1)	6		6	6	20
14	卓 球	1			3			4
15	相 撲	2		3		5		10
16	馬 術		(2)	3	1	1	1	6
17	フェンシング		(1)	3				3
18	柔 道	1		5				6
19	バドミントン	2			3	3		8
20	弓 道	1	(1)	3		3		7
21	ライフル射撃	1		2		1	3	7
22	剣 道	1	(2)	5	3	5		14
23	山 岳	2		2		2		6
24	カヌー	1				1		2
25	空 手 道	1		3	1	2	1	8
26	銃 剣 道		(1)	3				3
27	クレール射撃		(1)	3				3
28	なぎなた	1			3		3	7
29	ボウリング	3		4		2	2	11
30	ゴ ル フ	2	(1)	3	3	3		11
31	高校野球 (硬式)	2				16		18
	高校野球 (軟式)	2				14		16
合 計		43	(14)	82	41	105	54	325